

## 図解

現金預金の増減額と、その他の全ての貸借対照表科目の増減額の関係

### 前期 貸借対照表

資産の部	
現金預金※ 1	10,000 円
売掛金	100,000 円
前払金	20,000 円
建物	800,000 円
土地	1,000,000 円
投資有価証券	200,000 円
長期貸付金	500,000 円
負債の部	
買掛金	△ 80,000 円
未払法人税	0 円
長期借入金	△ 1,000,000 円
純資産の部	
資本金	△ 1,000,000 円
利益剰余金	△ 550,000 円
(借方残高を+、貸方残高を-で表示)	

### BS科目の増減額

現金預金	20,000
売掛金	+ 20,000 ④
前払金	△ 20,000 ⑤
建物	△ 50,000 ③
土地	+ 200,000 ⑥
投資有価証券	0
長期貸付金	△ 130,000 ⑦
買掛金	+ 10,000 ⑧
未払法人税	△ 20,000 ②
長期借入金	+ 20,000 ⑨
資本金	0
利益剰余金	△ 50,000 ①
合計	△ 20,000



現金預金以外の全ての勘定科目の増減は、現金預金の増減の裏返しとなる  
(必ず貸借の反転した金額となる)



「現金預金の増減」と、  
「現金預金以外の増減の合計」  
が貸借反転したうえで一致することが  
間接法の前提にある

### 当期 貸借対照表

資産の部	
現金預金※ 1	30,000 円
売掛金	120,000 円
前払金	0 円
建物	750,000 円
土地	1,200,000 円
投資有価証券	200,000 円
長期貸付金	370,000 円
負債の部	
買掛金	△ 70,000 円
未払法人税	△ 20,000 円
長期借入金	△ 980,000 円
純資産の部	
資本金	△ 1,000,000 円
利益剰余金	△ 600,000 円
(借方残高を+、貸方残高を-で表示)	

※ 1 解説の便宜のため、貸借対照表上の現金預金の範囲とキャッシュ・フロー計算書上の資金の範囲は一致しているものとして扱っている。